

# ふれあい新聞

秋号



やはぎ苑ショートステイご利用者様作品  
『お月見と桔梗』

発行日 令和2年10月1日 第79号

発行 社会福祉法人 瑞穂会  
ふれあい新聞編集部

本部 〒444-0936  
岡崎市上佐々木町字大官49番地  
TEL (0564) 34-3666  
FAX (0564) 34-2347

# やはぎ苑

## 勤続表彰



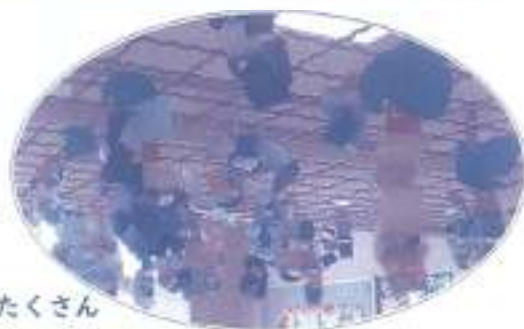
7月31日、勤続表彰が行われました。今年はコロナウイルスの影響で、一人一人の表彰になってしまいましたが、やはぎ苑では8名の方が、施設長から賞状を受け取っていました。永年勤続お疲れ様です。これからも、よろしくお願いします。



## 2階

2階のショート利用者の方が、毎月季節に合ったフロアの飾りを作ってくださいます。

8月は折り紙でブドウを作りました。色鮮やかなブドウがたくさんになりました。色の配色等を考えながら、とても楽しそうに作られていました。



表紙の作品も、ショート利用者の方が作られた作品です。ちなみに、うさぎはトイレトペーパーを丸めてくっつけているそうです。次はどんな作品ができ上がるのか楽しみです♪

## 4 階



7月22日、フロアにてすいか割りを行いました。  
すいかが固いのか皆さんのパワーが足りないのか  
なかなか割れず、苦戦していました。

職員に手伝ってもらいながらの方、両手で振りか  
ぶって見事に割られた方もいました。

最後はフロアの皆さんでおいしくいただきましたが  
甘くておいしかったです。



## ケアハウス

7月9日、おやつ作りで「フルーツポンチ」を作りました。

始めに、白玉団子作りです。白玉粉に豆腐を入れると柔らかくなるんですよ。



次に、好きな果物をカットします。さすがの包丁さばき、トントン  
トントンとみるみるうちに一口大にカットされていきました。

最後は、すべての材料をボールに入れ、サイダーを注いで完成です。

皆さん、美味しい美味しいと食べられて  
いました。



## 敬老会

9月18日、やはぎ苑では、午後から敬老会が行われました。今年100歳を迎えられる方2名、88歳の米寿を迎えられる方1名、100歳以上の方3名、合計6名の方が表彰されました。

今年は、コロナの影響で各階のデイルームで賞状と記念品を渡しました。とてもうれしそうな表情で受け取られる方、感極まって涙を流される方、照れくさそうにされる方もみえました。

表彰の後は、お茶と紅白に彩られたお饅頭を「おいしい～」と言われ、食べられていました。



これからも、利用者の方が安心して生活できるよう、努めていきます。  
来年は、やはぎ苑全体でお祝いができるといいですね。

# かみさの家日記

グループホーム

## かみさの家

新型インフルエンザの影響で、大きな行事が行えない日々が続いています。その様な状況の中でも、利用者様に季節を感じながら楽しんで頂けるよう感染予防に十分配慮しながら、出来る限りのイベントを企画し、行なっています。

(7月)

萌ユニットで、かき氷会をしました。入所者様と一緒に作り、「冷たくて美味しい」「夏はこれだね」と皆様笑顔で食べられていました。



(8月)

ほかほかユニットで、たこ焼きパーティーをしました。たこ以外にも様々な具材を入れて、「熱い、熱い」と、何が入っているかドキドキしながら皆さん召し上がっていました。



萌ユニットで、流しそうめんならめ、衛生面に配慮した「流しゼリー会」を行ないました。流れてくるゼリーをスプーンですくい、「あ～取れなかった」「そこ流れて行ったよ」と声出しながら参加されていました。



(9月)

ほかほか・萌ユニット合同で敬老会を行いました。感謝状と記念品(箸、櫛)を贈呈し、8月に好評だったゼリー流しを再度行ない、高船和菓子のおやつを召し上がって頂きました。皆様、いつまでもお元気でいて下さいね。



ほかほかユニットにて、屋台バイキングを行いました。

「美味しそうなのがたくさんあるな」「全部食べ切れるかな」など、利用者様同士で話しながら楽しんで食事されていました。



## くわがい敬老会

生活相談員 加藤 美晴

九月十八日、職員が正装をして各ユニットを回り敬老の日のお祝いのご挨拶を行いました。華やかな大きな敬老の日と書かれたプラカードを掲げて皆さんと写真を取ったり、一番ご高齢のご利用者様に「おめでとー！」と拍手をしたり、中には「なにかくれるんか？」と問われる場面もあり、笑顔が見られる場面がありました。

ザビエルでは敬老の日になんで、天皇陛下ご即位から二十年の鑑賞会を行いました。職員も一緒に鑑賞させていただき、この二十年で起きたさまざまな出来事に深く関わり、平和への思いや国民の幸せと健康を常に願って過ごされた二十年だったのだろうと、とても胸に染み込んだ

容でした。一緒に鑑賞されたご利用者様も真剣な表情で、「うんうん」とうなずかれながら観ていらつしやいました。鑑賞後におやつをいただき、「かわいい」「素敵な和菓子だね」とお声が聞こえていました。最後に「いつもありがとう」とお言葉をいただきました。日々の生活においても、ご利用者様に楽しんでいただけるよう職員一同、細やかな対応とコミュニケーションを取っていききたいと思っております。



# くわがいデイサービス

「今年の夏は暑かった～」と誰もが口をそろえて言われる程の酷暑。加えて新型コロナウイルス対策として、ご利用者の皆様にはマスク着用して頂いています。

7月 ひまわりの写真入れ作り



8月 コスモスリース作り



新品の桶が  
来たー！！

10年以上使っていた桶がついに新しくなりました。「いい湯だな ♪あははん♪」歌が溢れてます♪

お互いの距離を空けて席について頂くなど、感染予防対策に快くご協力して頂き、職員一同感謝しております。





地域密着型小規模特別養護老人ホーム

# 第二やはぎ苑

## 令和二年度 第二やはぎ苑 「敬老会」



九月二十一日（敬老の日）に第二やはぎ苑の敬老会を開催しました。施設長からおひとりずつに、お写真入りの表彰状をお渡ししました。併せて、「おいしく食事をしていつまでもお元気に」と思いを込めて、みなさんに歯ブラシをお送りしました。



敬老表彰の後は、おやつバイキングをお楽しみいただきました。みなさん、好みのものを選んで召し上がられました。



## 小野田さん作 「今号の俳句」

衣かつぎ

祖父母も父も

好みを



秋の気配を感じ、昔を思い出してつくられたそうです。若い職員は、「衣かつぎ」って何？から始まります。

## 「感染症予防」



矢作北中学校の生徒さんから心あたたまる応援のメッセージをいただきました。ご家族とのオンライン面会や職員健康チェックのタブレット入力など、ICT化も活用しながら、感染症予防対策を徹底し、入居の皆様をお守りしていきます。

# 小規模多機能 やはぎ苑

日頃より小規模多機能やはぎ苑の活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。  
小規模多機能やはぎ苑においても新型コロナウイルス感染防止対策として、送迎前の体温、体調の確認や消毒の徹底等感染防止に努めております。

コロナ禍の中、外出行事の中止や外部ボランティア活動の受け入れの自粛をしておりますが、利用者様に季節を感じ楽しんで頂けるよう苑内で感染防止に注意しながら色々な行事活動を行っております。



苑内でのお花見昼食会



昼食（カレーライス）作り



田植え



案山子作り



今年は「オラフ」



壁飾り作り



流しそうめん会

小規模特別養護老人ホーム

# 第三やはぎ苑

吹く風も涼しくなり、秋の気配を感じさせますが、新型コロナウイルスの影響もまだまだ続いており、施設で計画をしていた様々なイベントも中止せざるを得ない状況になっております。ご家族様に於いては再度の面会自粛で寂しい思いをされていることと思われま。

第三やはぎ苑では少しでも入居者の方々に楽しんで頂けるよう、小さい規模ながらもレクリエーションやイベントを行っています。

また今年も敬老会でおやつバイキングにお抹茶をつけて、皆様も楽しんで頂けたようです。



お抹茶は皆さまお好きですね♀  
ケーキにたい焼き・手作りのフルーツゼリーにたこ焼き・おせんべい、  
等々・・・

好きなおやつを沢山食べて、沢山の笑顔を頂きました(\*^-^\*)

## ありがとうございました



一度は面会自粛が解除されましたが、再流行により再び面会自粛になり、ご家族の皆様にご迷惑をお掛けしている中、動きのお手紙をいただきました。感謝するとともに、利用者様に寄り添った介護を提供できるよう努めます。

矢作北中学校の生徒さんから応援メッセージをいただきました。  
手洗い・うがい・マスク着用、そしてソーシャルディスタンスを守り、感染対策を徹底していきます！



「ありがとうございました。」

（ご寄付・ご寄贈（令和二年七月～令和二年九月）

\* 大山 稔 様

### 編集後記

岡崎市で、初めて新型コロナウイルスのクラスターが発生したのが、八月二十五日。九月に入り落ち着いてきたと思っていた矢先、九月二十四日に二回目のクラスターが発生してしまいました。

少しでも感染リスクを減らす為に、手洗い。うがい、消毒と合わせて、厚生労働省から出ている濃厚接触アプリ「COCOA」を活用してみてもいいでしょうか。アプリをダウンロードし、必要項目を入力すると陽性者との接触が分かるそうです。

これからの季節、コロナウイルスに加えて、インフルエンザも流行してきます。うつらない、うつさないという気持ちを常に持って生活していきたいと思えます。一日でも早く終息するのを願っています。

